

◆ 公文協アートキャラバン事業の趣旨 ◆

この事業は、新型コロナウイルス感染症で大きく傷んだ鑑賞機会を元に戻すと共に、芸術団体の活動機会の確保による芸術水準の維持に資するため、文化芸術関係者並びに公的文化施設の力を合わせ、地域の文化芸術の振興を推進する目的で実施されます。公文協では、この事業を通して、文化芸術の需要喚起や文化芸術団体および公的文化芸術施設のネットワークの構築を目的に、多くの皆様が劇場へ足を運び機会となるよう「公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3」として、全国47都道府県で展開します。

助成：文化庁

PROFILE

指揮 | **佐々木新平** ◎ オフィシャルサイト <https://shimpeisasaki.b-sheet.jp>

秋田県出身。東京学芸大学芸術文化課程音楽専攻を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J.パストラ、H.アンドリュック、M.ストリンガーら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいて本選最終の8人に選出。これまでオーケストラ・アンサンブル金沢をはじめ国内主要楽団に客演。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団においては2015-2019年までアソシエイト・コンダクターを務めた。2021年よりヤマハ吹奏楽団常任指揮者に就任し、吹奏楽の新たな境地を切り開く俊英としても期待が寄せられている。2022年6月よりあきた芸術劇場ミルハスの音楽部門アドバイザーを務める。現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、パレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。その活躍の様子はNHK-Eテレ「クラシック音楽館」、NHK-BSプレミアム公開収録コンサート、テレビ朝日「題名のない音楽会」等で放送された。その他、オーケストラによる多彩なレコーディングや映像収録、イベントでの指揮、さらに映画「マエストロ!」等名作における音楽指導および劇中音楽の指揮を務めるなど、多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遙かなる高みに向かう若き指揮者。



Shimpei Sasaki
CONDUCTOR

コーラスグループ | **ベイビーズ**

「声」だけで魅せる唯一無二のコーラス・エンターテインメントグループとして2002年メジャーデビューし20年目を迎えた。

2011年から新宿の「うたごえ喫茶ともしび」に通い始め、今までに「うたごえ喫茶アルバム」シリーズを「ともしび」監修のもと5作発売。オリジナル曲「花が咲く日は」「うたごえ喫茶ともしび」の年間リクエストランキングで2年連続で1位を獲得し話題に。また、ボニージャックス、由紀さおり、川中美幸のコンサートにもゲスト共演し、童謡100周年の2018年からは小田原童謡大使に任命されている。

近年はディズニー映画「ライオンキング」プレミアム吹替版へのコーラス参加や、TVの音楽番組に多数出演し、「日本武道館で一万人の大合唱祭を行う」という目標を掲げ、全国各地でコンサートを開催している。

2022年に最新両A面シングル「別れの曲」「列車にのろうよ」をリリース。

NHK R1「らじるラボ」(2020年4月～2022年9月)、BS朝日「人生、歌がある」毎週土曜19時～レギュラー出演中。

Baby Boo
CHORUS GROUP



管弦楽 | **オーケストラ・アンサンブル金沢** ◎ オフィシャルサイト <https://www.oek.jp>

1988年、岩城宏之が創設音楽監督(永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。ジュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。オーケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツグラモフォン、ワーナーミュージックジャパン、エイベックスなどメジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。07年より18年3月まで、井上道義が音楽監督を務め、18年9月よりマルク・ミンコフスキが芸術監督を務めた。22年9月より広上淳一がアーティストック・リーダーを務める。

Orchestra Ensemble Kanazawa

